

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	実習演習Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	実習演習Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	実習日誌の書き方 保育指導案大百科事典		出版社	一藝社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	実習で苦戦する「実習日誌」「指導案」の練習をする。 就職後に使う書き物の概要・書き方を理解する。		
到達目標	実習日誌・指導案作成のコツを掴み、苦手意識をなくす。 就職後に使う書き物の理解をし、取得する。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士 幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	実習演習Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	池見 愛城	実務経験	○
実務内容	幼児教育含む教育現場で勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 実習日誌の内容、意味 確認	オリエンテーション 実習日誌の内容、意味 確認
2	教育実習 日誌の書き方	教育実習での日誌の書き方を確認をする（目標の立て方、観察の仕方など）
3		
4	書き言葉・表現についての理解	実習日誌における保育用語や文章表現、文法上の注意点を復習し、書けるようにする
5		

6	実習時の指導案①	教育実習時の指導案を作成する
7		
8	施設実習 日誌の書き方 実習施設の理解	施設種別ごとの特徴を捉え、施設実習における日誌の書き方を学ぶ（幼稚園、保育園との違いなど）
9		
10		
11	実習時の指導案②	保育実習時の指導案を作成する
12		
13	クラスだより作成	クラスだよりの特徴や書き方を学び、イラストカットなどを用いて作成する（提出）
14		
15		
16	保育実習 日誌の書き方	保育実習での日誌の書き方確認をする（目標の立て方、観察の仕方など）
17	実習振り返り	実習振り返りシートの作成をする グループに分かれて振り返り発表の準備をする
18	振り返り発表	各実習（幼稚園・保育園・施設）で振り返り発表をする
19	指導計画の理解と作成	指導計画（カリキュラム）の理解と作成をする
20		
21	指導要録の理解と作成	指導要録について意味や内容を理解し、作成時の留意点などを踏まえて作成する
22		
23		
24	子どもへの言葉掛け・対応の仕方	子どもへの言葉掛け・対応の仕方を学び、実践する
25		
26	保護者への電話対応	様々な場面での保護者への電話対応を学び、実践する
27		
28	保護者への連絡帳記入	保護者への連絡帳記入を学び、作成する

29	保護者への連絡帳記入	保護者への連絡帳記入を学び、作成する
30	年間まとめ	保育者の専門性について考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	図画工作Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	図画工作Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	実習に必要な用品の準備を行い、実習に備える。 就職後、現場で使える保育用品・引き出しを増やしていく。		
到達目標	実習前：実習に必要な物を各自把握し、準備・完成させる。 実習後：現場に必要な製作物の知識・技術を習得、引き出しを増やす。		
評価基準	授業態度：60% 提出物：40%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	図画工作Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	櫻井 理子	実務経験	○
実務内容	幼児教育・保育現場にて勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 制作に必要な物品を確認する	オリエンテーション・制作に必要な物品を確認する
2	手袋シアター制作	制作にあたっての注意点を理解する。各自コンセプトを決める。
3	各自制作	テーマに沿って制作をする。
4	各自制作・制作物発表	テーマに沿って制作をする。制作したものを発表する。
5	リース制作	制作にあたっての注意点を理解する。各自コンセプトを決める。
6	各自制作	テーマに沿って制作をする。
7	各自制作・制作物発表	テーマに沿って制作をする。制作したものを発表する。

8	日付調べ作成	制作にあたっての注意点を理解する。各自コンセプトを決める。
9	各自制作	テーマに沿って制作をする。
10	各自制作	テーマに沿って制作をする。
11	お当番表作成	制作にあたっての注意点を理解する。各自コンセプトを決める。
12	各自制作	テーマに沿って制作をする。
13	各自制作・制作物発表	テーマに沿って制作をする。制作したものを発表する。
14	誕生日カード作成	制作にあたっての注意点を理解する。各自コンセプトとカードを贈る相手を決める。
15	各自制作	テーマに沿って制作をする。
16	各自制作・制作物発表	テーマに沿って制作をする。制作したものを発表する。
17	季節や季節の行事に合った制作① (クリスマス・節分など)	テーマに沿って制作をする。
18	各自制作	テーマに沿って制作をする。
19	各自制作	テーマに沿って制作をする。
20	季節や季節の行事に合った制作② (クリスマス・節分など)	テーマに沿って制作をする。
21	各自制作	テーマに沿って制作をする。
22	季節の壁面	制作にあたっての注意点を理解する。全員でコンセプトを決める。
23	各自制作	テーマに沿って制作をする。
24	各自制作・制作物発表	テーマに沿って制作をする。制作したものを発表する。
25	卒業課題（各校設定）	テーマに沿って制作をする。
26	各自制作	テーマに沿って制作をする。
27	各自制作	テーマに沿って制作をする。
28	卒業課題発表	制作したものを発表する。
29	卒業課題発表・フィードバック	制作したものを発表する。
30	まとめ	制作のポイント、現場での留意点を確認する。

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	からだづくり運動Ⅲ		
必修選択	必修	(学則表記)	からだづくり運動Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	子どもの指導だけでなく、フィットネスクラブでも通用する運動プログラムの理論や指導法について習得する。		
到達目標	フィットネスクラブにおけるスタジオプログラムの知識の理解と指導法を身につける。 フィットネスクラブにおけるプールプログラムの知識を身につける。		
評価基準	筆記テスト：20％　実技テスト：60％　授業態度：20％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	からだづくり運動Ⅰ、からだづくり運動Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	富田 美江子	実務経験	○
実務内容	一般の方の運動指導（20年以上）、スポーツクラブでインストラクターとして（9年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標について
2	プログラム構成の基礎	トレーニング原則、プログラム作成上のポイント、運動強度について
3	指導者の能力	キューイングと指導の循環
4	レジスタンス運動①	レジスタンス運動について
5	レジスタンス運動②	下半身の種目
6	レジスタンス運動③	上半身と体幹の種目

7	レジスタンス運動のまとめ	レジスタンス運動について筆記と実技による確認
8	ストレッチング	ストレッチングについて
9	音楽にあわせた指導	オンザビートとオフザビート
10	ウォームアップ①	ウォームアップについて
11	ウォームアップ②	ウォームアップの作成と指導
12	クールダウン①	クールダウンについて
13	クールダウン②	クールダウンの作成と指導
14	ウォームアップとクールダウン まとめ	ウォームアップとクールダウンについて筆記と実技による確認
15	水泳・水中運動	水泳・水中運動について
16	ウォーキングとジョギング①	ウォーキングとジョギングについて
17	ウォーキングとジョギング②	ウォーキングとジョギングの基本的なフォームとプログラミング
18	ウォーキングとジョギング③	ウォーキングとジョギングの安全上の注意点と傷害・予防法、作成と指導
19	ウォーキングとジョギングまとめ	ウォーキングとジョギングについて筆記と実技による確認
20	エアロビックダンス①	エアロビックダンスについて
21	エアロビックダンス②	エアロビックダンスの基本動作の習得①
22	エアロビックダンス③	エアロビックダンスの基本動作の習得②
23	エアロビックダンス④	レイヤリングテクニック
24	エアロビックダンス⑤	レイヤリングプログラムの作成
25	エアロビックダンス⑥	コンビネーションテクニック
26	エアロビックダンス⑦	コンビネーションプログラムの作成
27	エアロビックダンスの指導の実際①	プログラム作成と指導①
28	エアロビックダンスの指導の実際②	プログラム作成と指導②
29	エアロビックダンスまとめ	エアロビックダンスについて筆記と実技による確認

30	いろいろな有酸素運動プログラム	エアロビックダンス以外の有酸素運動プログラムについて体験する
----	-----------------	--------------------------------

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	キッズエクササイズ		
必修選択	必修	(学則表記)	キッズエクササイズ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	60
使用教材	なし			出版社	なし

科目の基礎情報②

授業のねらい	様々な運動や遊びを通して、子どもの心と身体の成長をサポートできる指導者を目指し、理解を深める。				
到達目標	幼児期の発育発達を理解し、適したエクササイズ方法を知る。 また、子どもに合わせた指導法を習得する。				
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上本 哲也			実務経験	○
実務内容	スポーツクラブで様々な年齢層を顧客に、トレーナー、インストラクターとして活動（10年以上）				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ 到達目標について 動く、知る、楽しむ
2	年齢別運動遊び ①乳児	乳児対象の運動遊びを学ぶ
3	年齢別運動遊び ②乳児	乳児対象の運動遊びを学ぶ
4	年齢別運動遊び ①幼児	幼児対象の運動遊びを学ぶ

5	年齢別運動遊び ②幼児	幼児対象の運動遊びを学ぶ
6	年齢別運動遊び ①親子	親子対象の運動遊びを学ぶ
7	年齢別運動遊び ②親子	親子対象の運動遊びを学ぶ
8	目的別プログラムの構成① ～遊び～	遊びを目的にしたプログラムを学ぶ
9	目的別プログラムの構成② ～遊び～	遊びを目的にしたプログラムを学ぶ
10	目的別プログラムの構成① ～エクササイズ～	エクササイズを目的にしたプログラムを学ぶ
11	目的別プログラムの構成② ～エクササイズ～	エクササイズを目的にしたプログラムを学ぶ
12	プログラム実践①	実践と評価
13	プログラム実践②	実践と評価
14	子どもの身体の特徴と安全性①	子どもの身体の特徴を学ぶ 指導する上での安全性を学ぶ
15	子どもの身体の特徴と安全性②	子どもの身体の特徴を学ぶ 前期のまとめ
16	機能解剖学の基礎知識① ～正しいアライメント&正しい動き～	機能解剖学から見た、正しいアライメントを学ぶ 正しい動きを学ぶ
17	機能解剖学の基礎知識② ～正しいアライメント&正しい動き～	機能解剖学から見た、正しいアライメントを学ぶ 正しい動きを学ぶ
18	学童期のエクササイズ 体幹	学童期に適したエクササイズを学ぶ 体幹強化とストレッチ
19	学童期のエクササイズ 上肢	学童期に適したエクササイズを学ぶ 上肢強化とストレッチ
20	学童期のエクササイズ 下肢	学童期に適したエクササイズを学ぶ 下肢強化とストレッチ
21	音楽を使用するキッズエクササイズ①	音楽を使用して行うキッズエクササイズを学ぶ
22	音楽を使用するキッズエクササイズ②	音楽を使用して行うキッズエクササイズを学ぶ
23	道具を使用するキッズエクササイズ①	道具を使用して行うキッズエクササイズを学ぶ
24	道具を使用するキッズエクササイズ②	音楽を使用して行うキッズエクササイズを学ぶ
25	キッズエクササイズ導入法	キッズエクササイズ導入法について学ぶ

26	キッズエクササイズ構成法	キッズエクササイズ構成法について学ぶ
27	キッズエクササイズ指導法	キッズエクササイズ指導法について学ぶ
28	キッズエクササイズ実技発表・評価	実技発表と評価
29	キッズエクササイズ実技発表・評価	実技発表と評価
30	キッズエクササイズ総まとめ	キッズエクササイズ総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	音楽Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	音楽Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	60
使用教材	ポケットいっぱいのうた		出版社	教育芸術社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	音楽Ⅰ、音楽Ⅱを発展させ、保育現場で必要な音楽技術を習得する。		
到達目標	季節・生活のうた・こどものうたを歌唱・伴奏・弾きうたいすることができる。 リトミックの基礎を学び実践することができる。		
評価基準	テスト：60％ 授業態度：30％ 提出物：10％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	音楽Ⅰ、音楽Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	杉 智華	実務経験	○
実務内容	ヤマハ音楽教室システム講師として1歳から大学生を主にグルーブレッスンで指導（30年） 保育園にて音楽講師として指導（6年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業（ピアノ・リトミック）の流れについて 音楽理論
2	生活のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
3	春のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
4	リトミック実践①	リトミックの定義を知り、実際にリトミックを体験する
5	リトミックのためのピアノ曲①	1～5歳のリトミック（春）
6	こどものうた①	歌唱・伴奏・弾きうたい
7	実践練習	テスト準備

8	まとめ	中間テスト実施
9	実習対策①	保育園・幼稚園実習に向けた対策
10	実習対策②	保育園・幼稚園実習に向けた対策
11	夏のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
12	リトミックのためのピアノ曲②	1～5歳のリトミック（夏）
13	リトミック実践②	1～5歳のリトミック実践①
14	実践練習	テスト準備
15	前期まとめ	前期テスト実施
16	秋のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
17	リトミックのためのピアノ曲③	1～5歳のリトミック（秋）
18	実習対策③	保育園・幼稚園実習に向けた対策
19	こどものうた②	歌唱・伴奏・弾きうたい
20	冬のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
21	リトミックのためのピアノ曲④	1～5歳のリトミック（冬）
22	実践練習	テスト準備
23	まとめ	中間テスト実施
24	リトミック実践③	1～5歳のリトミック実践②
25	季節のうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
26	生活・こどものうた	歌唱・伴奏・弾きうたい
27	リトミック実践④	わらべうた・昔あそび
28	実践練習	テスト準備
29	後期まとめ	後期テスト実施
30	発表会	発表会の実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	キャリア教育Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	キャリア教育Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	本格化する就職活動に向けて、自信を持って積極的に取り組み、採用試験に臨む。		
到達目標	希望する園、施設、企業への見学訪問、ガイダンス等に数多く参加する。 採用試験に臨み、書類選考、面接試験、筆記・実技試験等へ進み内定、入社承諾まで目指す。 新社会人として社会人の心構えとマナーを身に付ける。		
評価基準	授業態度・意欲40％、レポート・課題60％		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	なし		
関連科目	キャリア教育Ⅰ・Ⅱ、保育実習Ⅰ・Ⅱ、教育実習		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小山 公彦	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション、到達目標、就職活動のスケジュール作成、就職ノートの活用について
2	就職規定	就職活動の進め方の再確認、規定について
3	就職活動	選考について知る（対面面接・WEB面接・グループディスカッション・SPI・一般常識・実技試験）
4	履歴書①	履歴書を完成させる
5	履歴書②	書類提出までの流れ、準備するものについて
6	面接対策①	面接の基本の再確認、および受け答えの練習。よくある質問の練習
7	面接対策②	面接練習（一般的な質問）

8	面接対策③	面接練習（保育分野、幼児体育員等の専門的な質問）
9	内定前後の心構え	内定前後の注意点ややるべき事について
10	社会人に向けた準備① お金編	給与明細表の見方と税金の仕組みや保険や税金について働いた先を理解する 生涯年収と資産形成および収入の得方の違いについて
11	社会人に向けた準備② 一般常識	お茶の出し方、電話対応メモの残し方、クレーム対応について
12	社会人に向けた準備③ 報連相	指示の受け方、報連相の仕方、時間管理の仕方
13	社会人に向けた準備④ 協働力	社会人としての人間関係、チームで働くということ、連携の重要性について学ぶ
14	社会人に向けた準備⑤ 心構え	社会的役割と責任について
15	まとめ	社会人としての心得えとキャリア教育Ⅲのまとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	乳児保育Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	乳児保育Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	30
使用教材	【近大配本テキスト】 はじめて学ぶ乳児保育 改定版			出版社	同文書院

科目の基礎情報②

授業のねらい	子どものあるがままの姿を理解し保育できるように、子どもの成長発達や発達課題、保育内容、保育実践の方法を学習し、知識と技能の基礎を身につける。		
到達目標	保育現場で乳児保育を実践するための知識と技能を身につける。 子育て支援を行う保育者としての役割を自覚し、支援を行う上で必要な知識や技能を習得する。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石川 恵美子	実務経験	○
実務内容	保育園士として従事、(20年以上)、保育心理士としてオンライン相談室にて相談対応を行う(2年) 放課後等デイサービス非常勤(1年)		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	乳児保育とは (オリエンテーション)	乳児保育とは(オリエンテーション)
2	乳児保育はなぜ必要か —社会的背景から考える—	01:保護者の就労を支える乳児保育 02:保護者の子育てを支える乳児保育
3	乳児保育の成り立ちを知ろう —歴史と現状を理解する—	01:乳児保育のはじまり 02:乳児保育の現状
4	「子ども・子育て支援新制度」 —乳児保育に関わる制度を理解する—	01:新制度の仕組み 02:新しい乳児保育事業と待機児童問題
5	知っておきたい法律のいろいろ —児童福祉法など—	01:児童福祉法について知る/02:児童福祉施設の設備及び運営に関する基準とは 03:労働基準法が示す女性への配慮/04:育児・介護休業法について知る
6	「保育所保育指針」とは	01:「保育所保育指針」の目的 02:「保育所保育指針」の方向性と3歳児以上の保育の内容と共有化
7	「保育所保育指針」における乳児保育のポイント①②	01:指針にみる保育所の役割/02:ねらいと内容/03:大切にしたい養護

8	人生の基礎としての乳児期 ーポルトマンの考え方に学ぶー	01：高等哺乳類の新生児「巣立つもの」と「巣に座っているもの」/02：「生理的早産」直立姿勢、言語、洞察力ある行為/03：「生理的早産」であることの意味/04：「生理的早産」から学ぶ
9	乳児のこころの発達・ことばの発達	01：子どもの「人見知り」、不思議な子どものこころ 02：ことばの発達の道筋、発達にに必要な力
10	乳児のからだ ーからだの発育と運動機能の発達ー	01：からだの成長 02：運動能力の発達
11	乳児保育における複数担任制 ー保育者同士の連携のあり方ー	01：乳児保育における複数担任制
12	保育所で過ごす1日の流れ ー年齢別デイリープログラム	01：保育所の1日/02：保育の計画を立てる 03・04・05：0・1・2歳児クラスのデイリープログラム/06：デイリープログラムの理解に向けて
13	保護者との連携を考えよう ー協力関係をめざして	01：ことばの壁の解決/02：虐待の発見と対応 03：保護者に寄り添う
14	発達の遅れとむき合う ー保護者を支えるー	01：発達の遅れに気づく 02：保育者からの発信のしかた/03：保護者を支える
15	前期まとめ	前期まとめ
16	だっこのしかた・おんぶのしかた	01：よこ抱きの方法/02：たて抱きの方法/03：おんぶの方法
17	乳児の衣服の基礎知識	01：衣服の選び方
18	衣服の着せ方・脱がせ方 ー着替えの配慮のポイントを学ぶ	01：あおむけの姿勢での着替え 02：座った姿勢での着替え
19	おむつ替えと「おむつはずれ」	01：おむつ替え 02：「おむつはずれ」のために
20	授乳のしかたとその準備 ー人工乳・冷凍母乳の扱いを学ぶ	01：調乳の方法/02：冷凍母乳の取り扱い/03：授乳のしかた
21	離乳食の基礎知識 ー離乳に向けた食事の進め方を知る	01：離乳について/02：離乳食の介助 03：食物アレルギーへの対応
22	沐浴のしかた・清拭のしかた ー乳児のからだを清潔に保つために	01：沐浴の方法 02：清拭の方法
23	保育環境の衛生管理 ー子どもの生活を清潔に保つために	01：保育室内外の衛生 02：子どもたちの私物の清潔
24	かみつきのひっかきへの対応 ートラブルの背景と保護者との連携	01：かみつきのひっかきなどのトラブルへの対応
25	乳児保育における安全管理①	01：乳幼児突然死症候群 /02：乳幼児揺さぶられ症候群 03：保育所におけるくすりの扱い
26	乳児保育における安全管理②	01：日常生活における危険 02：人数確認による子どもの把握/03：不審者の侵入を防止する
27	連絡帳の書き方 ー育ちを保護者とわかちあう	01：守秘義務という保育者の専門性 02：信頼関係の構築に向けて/03：連絡帳を書いてみよう
28	Part3アイデア集	Lesson01 遊びのアイデアと歌遊び/Lesson02 ふれ合い体操ー乳児との絆を深めるために Lesson03 おすすめ絵本ー乳児の創造力を育むために/Lesson04 おすすめ乳児保育関連グッズ
29	後期まとめ	後期まとめ
30	年間まとめ	年間まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	英会話Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	英会話Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	30
使用教材	Happy English for Childcare 保育のための基礎英語		出版社	金星堂	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育現場での英会話を通したやりとりを身につける。		
到達目標	英語を使って保護者への連絡や子どもの状況説明ができる。 外国籍の子どもが在籍するクラス担任としてクラス運営ができる。		
評価基準	テスト/発表：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小山 公彦 他1名	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期オリエンテーション Pre-unit	授業のねらい、到達目標、英語でコミュニケーションをするときの基本表現
2	Unit 1	挨拶・自己紹介 人に何かを頼む表現
3		保育時間 英語での自己紹介
4	Unit 2	園内の案内 位置を伝える表現
5		園の構成員 戸外での道案内

6	Unit3	登園時の会話 今日の調子を聞く・答える表現
7		持ち物、数字 手遊び歌“Ten Little Pumpkins”
8	Unit4	工作時間の会話 好きなもの・嫌いなものを聞くwhatの表現、工作やお絵かきで使う道具
9	Unit4 Unit5	英語で「かぐや姫」を読む 園外散歩での会話
10	Unit5	場所を表す表現、集団で行う園活動 教室内のものの場所を示す
11	Unit6	園庭での会話 「人に何かするよう」「しないよう」に言う表現
12		遊具の名前 英語で「桃太郎」を読む
13	Unit7	保護者からの相談、食に関する好き嫌い アレルギーの有無を伝える表現、手洗いや歯磨き
14		食材の名前 肉じゃがのレシピを英語で書く
15	前期まとめ	前期まとめ
16	Unit8	お昼寝時間の会話 「しなければならないこと」「する必要があること」を伝える表現
17		お昼寝に関する表現、英語圏のジェスチャー 手遊び歌“Twinkle, Twinkle, Little Star”
18	Unit9	降園時の会話 1日の活動と様子を伝える表現(動詞の過去形)
19	Unit9 Unit10	クリスマスについて調べる 園行事予定についての会話
20	Unit10	「もし～なら」という仮定の表現 園行事の英語名、体操の名称
21	Unit11	ネイティブとの打ち合わせ Shall I/we…?とWill you…?を用いた表現と応答
22		時刻を表す英語 歌“Old MacDonald Had a Farm”
23	Unit12	体調不良の園児との会話 病気やけがの症状を伝える表現
24		医療品の英語 身体の部位・家系図
25	Unit13	保護者との電話 電話応対に便利な表現
26		留守番電話の英語 英語で「浦島太郎」を読む

27	Unit14	最後の日の会話 お礼の表現
28		動きの表現 誕生日カード
29		英語で誕生日カードを作成して発表
30	後期まとめ	後期まとめ、レポート作成

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	情報処理入門Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	情報処理入門Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	情報処理入門 30時間でマスターWord&Excel			出版社	近畿大学九州短期大学 実教出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	PC活用のための基礎知識と技術、および情報リテラシー（情報活用能力）を身に付ける。		
到達目標	基本となるスキル<タッチタイピング>と、アプリケーションソフト< Word、Excel、PowerPoint、他 >の 基本操作と活用方法について演習を通して習得する。 情報機器およびインターネットを活用するうえでの情報リテラシー（情報活用能力）を習得する。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	パソコン技能検定3級 / 保育士・幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小山 公彦	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	Windows10（OS）の基礎／PC基本操作 情報処理の基礎 1.1.
2	タッチタイピング	練習時の留意点 情報処理の基礎 1.2.
3	Word、文書作成ソフト、PC操作の 基礎	文字入力の実践と習得 情報処理の基礎 1.2
4		かな漢字変換・記号入力の実践と習得 情報処理の基礎 1.2.

5	Word、文書作成ソフト、基本	ビジネス文書の作成（基本構成要素の理解） 情報処理の基礎 1.2.
6		ビジネス文書の作成（編集機能の理解）
7		ビジネス文書の作成（編集機能の習得） 情報セキュリティについて考える
8		ビジネス文書の作成（まとめ） 知的財産権に対する知識と意識
9	図形処理	図形処理（図形・テキストボックスの挿入・ワードアート・画像の挿入 等）
10	まとめ	前期：学習内容復習
11	PowerPoint、プレゼンテーションソフト、基礎	PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎①
12		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎②
13		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎③
14		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）基礎④
15	総括	総括：レポート作成（近畿大学九州短期大学通信教育部）
16	インターネット演習、描画・画像の取り扱い	インターネット演習① E-mail・添付ファイル
17		インターネット演習② プログラミングソフト体験
18		描画・画像ソフト体験
19	Excel、表計算ソフト	Excel（表計算ソフト）基礎
20		Excel（表計算ソフト）基本
21		Excel（表計算ソフト）関数活用①
22		Excel（表計算ソフト）関数活用②
23	まとめ	後期：学習内容復習
24	PowerPoint、プレゼンテーションソフト、応用	PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用①
25		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用②
26		PowerPoint（プレゼンテーションソフト）応用③

27	総合演習	総合演習①
28		総合演習②
29	総合演習	総合演習③
30		総合演習④ レポート作成

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	日本国憲法		
必修選択	選択	(学則表記)	日本国憲法		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	2	30
使用教材	日本国憲法		出版社	近畿大学九州短期大学通信教育部	

科目の基礎情報②

授業のねらい	国家の根本法である憲法について、その意義と基本原則を理解する。 また、憲法に定められている具体的な権利について学び、現実社会の憲法に関する問題を知る。		
到達目標	憲法の意義と基本原理を説明できるようになる。 憲法の保障する人権の内容を知り、現実の社会問題を憲法の観点から理解し、自己の見解を説明することができるようになる。		
評価基準	テスト/レポート60% 授業態度20% 提出物20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上の者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士・幼稚園教諭二種免許		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小園 栄作	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、到達目標を説明する
2	憲法とは何か①	近代憲法の原則と憲法の特質について学習する
3	憲法とは何か②	現代憲法への展開について学習する
4	日本国憲法の基本原理①	日本国憲法の制定について学習する
5	日本国憲法の基本原理②	日本国憲法の構成と基本原理について学習する
6	国民主権と天皇	国民主権の原理と天皇の地位について学習する
7	前期復習①	重要なポイントを復習し、理解を深める

8	平和主義	憲法第9条を中心とし、平和主義の内容について学習する
9	個人の尊厳と基本的人権	人権の歴史的展開と基本的人権の保障について学習する
10	基本的人権の限界	「公共の福祉」原理について学習する
11	包括的基本権①	個人の尊重、幸福追求権と新しい人権について学習する
12	包括的基本権②	法の下の平等について学習する
13	前期復習②	重要なポイントを復習し、理解を深める
14	テスト	テストを実施する
15	前期まとめ	テストの振り返りと前期の総まとめを行う
16	精神的自由権①	思想・良心の自由と信教の自由について学習する
17	精神的自由権②	表現の自由と学問の自由について学習する
18	社会権	教育を受ける権利を中心に、社会権について学習する
19	人身の自由と刑事手続の保障	刑事手続において、保障される権利について学習する
20	経済的自由権と受益権	経済的自由権と受益権について学習する
21	参政権と国民の義務	選挙権を中心とする参政権と日本国憲法に定める国民の義務について学習する
22	後期復習①	重要なポイントを復習し、理解を深める
23	政治機構の原理	立法、行政、司法による抑制と均衡の原理について学習する
24	国会と内閣	国会と内閣の構成、及び国会と内閣の関係について学習する
25	裁判所	司法権の内容と違憲審査制について学習する
26	地方自治	地方自治の内容と役割について学習する
27	憲法の改正	憲法の保障制度とその改正手続について学習する
28	後期復習②	重要なポイントを復習し、理解を深める
29	テスト	テストを実施する
30	後期まとめ	テストの振り返りと後期の総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保育・教職実践演習		
必修選択	選択	(学則表記)	保育・教職実践演習		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	【近大配本テキスト】保育・教職実践演習		出版社	近畿大学九州短期大学	

科目の基礎情報②

授業のねらい	これまで実習等で培ってきた幼稚園教諭・保育士に求められる資質や能力を確認し、幼稚園 教諭・保育士として必要な知識・保育技術を習得する。また苦手領域の確認とその克服の仕方を学習する。		
到達目標	幼稚園教諭・保育士として備えるべき姿勢や心構え、役割などの基本的な事項を理解し説明できる。 幼稚園教諭・保育士として持つべき基礎的な指導力を知り、実際に指導計画を立て実践できる。 幼稚園教諭・保育士としての自分の力量を知り伸ばすための評価方法を知り、使うことができる。		
評価基準	テスト/レポート：60% 授業態度：20% 提出物：20%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格、幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	石川 恵美子	実務経験	○
実務内容	保育園士として従事、(20年以上)、保育心理士としてオンライン相談室にて相談対応を行う(2年) 放課後等デイサービス非常勤 (1年)		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	保育・教育実践演習とは 履修カルテについて	オリエンテーション（授業の進め方） 保育・教育実践演習とは/履修カルテについて
2	子どもを取り巻く社会環境の変化①	子どもを取り巻く社会背景について（歴史と現状を理解する）
3		現代の子どもを取り巻く環境について 三問がない（時間・空間・仲間）
4		現代の家族が抱える育児の諸問題について（核家族による子育ての不安等）
5	子どもを取り巻く社会環境の変化②	異文化理解について 子どものいじめや虐待について

6		子ども子育て支援新制度について
7	子どもを取り巻く社会環境の変化③	子どもの保障される環境とは
8	今までの振り返り 保育者としての使命と教育的愛情について①	今までの振り返り 園と保護者の関係性から見える幼稚園、保育園の役割・使命
9	保育者としての使命と教育的愛情について②	
10	保育者としての専門性	保育者の専門性について 幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領から学ぶ
11		
12	今までの振り返り 保育の質について	今までの振り返り 保育の質とは何かについて（保育の質の向上に向けて必要な視点）
13	保育政策の現代的動向に関する理解	子ども子育て支援新制度・法律のいろいろ（児童福祉法・児童福祉施設の設備及び運営に関する基準・労働基準法・育児・介護休業法）、幼稚園や保育園における集団保育（クラス保育・異年齢保育等）の意義
14		現代の子ども達にとって必要なことは何か
15	前期振り返り 保育指導の在り方	前期振り返り 保育指導の在り方について
16	幼稚園教育要領、保育所保育指針について	幼稚園教育要領・保育所保育指針について 子どもの最善の利益、環境を通して行う保育、養護と教育の一体化について
17	教育課程・全体的な計画について	教育課程・全体的な計画について
18	情報機器の活用	パソコンやデジタルカメラなどを使ってドキュメント作りをする
19		
20	教材分析と教材開発	ドキュメントについてのメリット・デメリット検証。独自での教材開発を考える。
21	後期今までの振り返り 保育構想（行事を通して）	今までの振り返り 保育発表会までの保育を組み立てる
22	課題解決と探求心（行事を通して）	
23	保育の遊びの意義について	遊びの意義と重要性
24	新任保育者になるために	先輩からのメッセージやアドバイスに耳を傾ける。 新任保育者の悩み・気づき・学び
25	学級経営力・集団運営力	集団づくりの基盤について理解する。
26	幼稚園・保育所と小学校の連携	幼稚園・保育所と小学校の学び方の違いや継続して学ぶことの重要性を理解する
27		小一プロブレムについて

28	今までの振り返り	1年の振り返り
29	ロールプレイング・心理劇	ロールプレイング・心理劇の基礎について学び、実際にロールプレイング・心理劇の体験をする
30	保育・教職実践演習の総括	これからの日本の教育の在り方と、教師・保育者の担うべき職責

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	教育実習（2回目）		
必修選択	選択	（学則表記）	教育実習（2回目）		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	3	96
使用教材	教育実習事前指導		出版社	近畿大学九州短期大学	

科目の基礎情報②

授業のねらい	教育実習は、本校授業・近大通信教育を通じて修得してきた知識や技能を、体験を通して実際の教育現場で実践することにより、幼児教育に対する理解を深める。		
到達目標	現場における観察・実習を行うとともに、学校教育活動全般にわたって教員の仕事を直接・間節に経験する。 教育実習校の教育目標・学習到達目標達成を目指すとともに自ら立てた目標の達成に向けて精進する。		
評価基準	評価基準は学外実習規定に準ずる（教務ハンドブック参照）		
認定条件	出席が10日と80時間の両条件を満たす事 成績評価が2以上の者		
関連資格	幼稚園教諭二種免許状		
関連科目	なし		
備考			
担当教員	針尾 茜	実務経験	○
実務内容	幼児教育含む教育現場で7年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	実習準備	実習場所・名札やその他指導に必要な準備
2	実習先の決定	企業側の承諾をもって決定
3	事前ガイダンス	実習活動中の留意点の確認、実習手帳の使用についての説明 企業、実習生間により事前打合せの指示
4	実習	1日の実習時間の最大は8時間（休憩時間を含めず）とし、原則22時まで

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅰ（施設）		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅰ（施設）		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	3	96
使用教材	新訂 知りたいときにすぐわかる 幼稚園・保育所・児童福祉施設等 実習ガイド		出版社	同文書院	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育実習は、学校での学びを通じて得た知識、技能、心構えを実際の保育現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験する。また、乳幼児の生活指導を中心にするが、この指導を通してこどもの発達助成を目指す。		
到達目標	保育現場での保育を経験することにより、これまで学習してきた理論や技術が、保育の実践と具体的にどのよう に繋がるか理解することができる。 実践を通じて、保育の技術、能力を向上させる。 自分なりの保育観や子ども観を深め確立させる。		
評価基準	評価基準は学外実習規定に準ずる		
認定条件	出席が10日と80時間の両条件を満たす事 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士		
関連科目	近大規定の科目単位を修得しておくことが必須条件となる		
備考			
担当教員	石川 恵美子	実務経験	○
実務内容	保育園士として従事、(20年以上)、保育心理士としてオンライン相談室にて相談対応を行う(2年) 放課後等デイサービス非常勤（1年）		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	実習準備	実習場所・名札やその他指導に必要な準備
2	実習先の決定	企業側の承諾をもって決定
3	事前ガイダンス	実習活動中の留意点の確認、実習手帳の使用についての説明 企業、実習生間により事前打合せの指示
4	実習	1日の実習時間の最大は8時間（休憩時間を含めず）とし、原則22時まで

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	保育実習Ⅱ（保育園）		
必修選択	選択	（学則表記）	保育実習Ⅱ（保育園）		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	3	96
使用教材	【保育実習Ⅱ】保育園実習日誌		出版社	近畿大学九州短期大学	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育実習は、学校での学びを通じて得た知識、技能、心構えを実際の保育現場で、乳幼児教育及び生活指導の学習を体験する。また、乳幼児の生活指導を中心に、こどもの発達助成を目指す。		
到達目標	「保育実習Ⅰ」を通して学んだ技術と理論を基礎として、保育士として必要な資質、能力、技術を向上させる。 子育て支援をするために必要な知識・技術とニーズに対する理解力・判断力を養うことができる。		
評価基準	評価基準は学外実習規定に準ずる		
認定条件	出席が10日と80時間の両条件を満たす事 成績評価が2以上の者		
関連資格	保育士資格		
関連科目	保育実習Ⅰ		
備考			
担当教員	針尾 茜	実務経験	○
実務内容	幼児教育含む教育現場で7年勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	実習準備	実習場所・名札やその他指導に必要な準備
2	実習先の決定	企業側の承諾をもって決定
3	事前ガイダンス	実習活動中の留意点の確認、実習手帳の使用についての説明 企業、実習生間により事前打合せの指示
4	実習	1日の実習時間の最大は8時間（休憩時間を含めず）とし、原則22時まで

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	総合演習Ⅴ		
必修選択	選択	(学則表記)	総合演習Ⅴ		
開講				単位数	時間数
年次	3年次	学科	スポーツ保育科	4	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	保育発表会を見据え、衣装や道具の作成方法を学ぶ。		
到達目標	保育現場で発表会等を行う際に、子どもの思いを受け止めつつ、計画準備が行えるようにする。		
評価基準	授業態度30％ 企画等協力体制40％ 提出物30％		
認定条件	出席が3分の2以上あること 評価が2以上であること		
関連資格	保育士資格、幼稚園免許		
関連科目	総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小山 公彦	実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	園における行事・発表会	園行事とは、園行事の中から発表会形式の行事について学ぶ
2	園における行事・発表会	年齢に合った題材の選びかた
3	劇遊びの準備	いろいろな題材の楽しさや面白さを知る
4	劇遊びの準備	スケジュールの立て方を知り、劇遊びに向けてスケジュールを作成する
5	劇遊び1	素材の中から1つを選び年齢に合った台本の作り方を知る
6	劇遊び2	大道具や小道具を考える （大道具や小道具のいろいろな作り方を知る）
7	劇遊び3	衣装を考える （布や素材の種類や特性を知る）

8	劇遊び4	衣装や大道具、小道具を実際に作成する (スケジュールの見直し、衣装や小道具の詳細を入れる)
9	劇遊び5	衣装や大道具、小道具を実際に作成する
10	劇遊び6	衣装や大道具、小道具を実際に作成する
11	劇遊び7	衣装や大道具、小道具を実際に作成する
12	劇遊び8	衣装や大道具、小道具を実際に作成する
13	劇遊び9	衣装や大道具、小道具を実際に作成する
14	劇遊び10	台本に沿って練習をする
15	劇遊び11	台本に沿って練習をする
16	劇遊び12	告知の方法やプログラムの作成をする 立ち稽古をする
17	劇遊び13	告知の方法やプログラムの作成をする 衣装や道具を使用し練習をする
18	劇遊び14	劇遊び披露する
19	劇遊び16	劇遊びの振り返りを行い保育発表会に向けて省察を行う
20	保育発表会準備	保育発表会のねらいやスケジュール作成
21	保育発表会準備	保育発表会の題材選び(素材のねらいや伝えたいこと)
22	保育発表会準備	大道具・小道具、衣装などの詳細を考え材料、備品を洗い出す 台本制作
23	保育発表会準備	大道具・小道具、衣装作成
24	保育発表会準備	大道具・小道具、衣装作成(スケジュールの見直し)
25	保育発表会準備	プログラム、告知方法を考える
26	保育発表会準備	プログラム、告知方法を考える
27	保育発表会準備	大道具・小道具、衣装作成
28	最終チェック	立ち稽古・道具、衣装作成
29	最終チェック	立ち稽古
30	保育発表会振り返り	振り返り省察をする